

1 《七宝斎田豊作図花瓶》 一対

大正四年（一九一五）

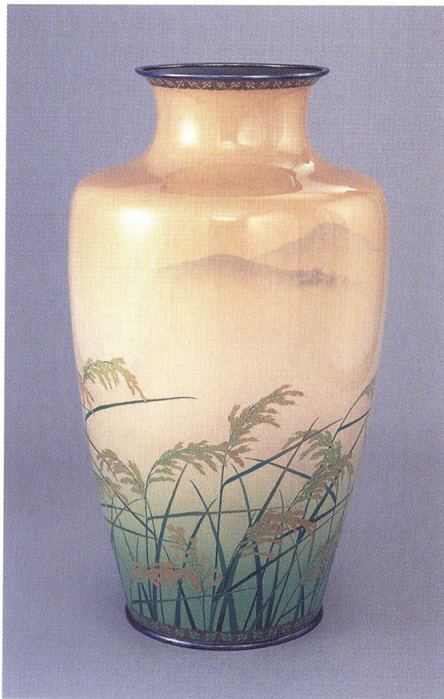
七宝

各高六一・〇 径三六・〇

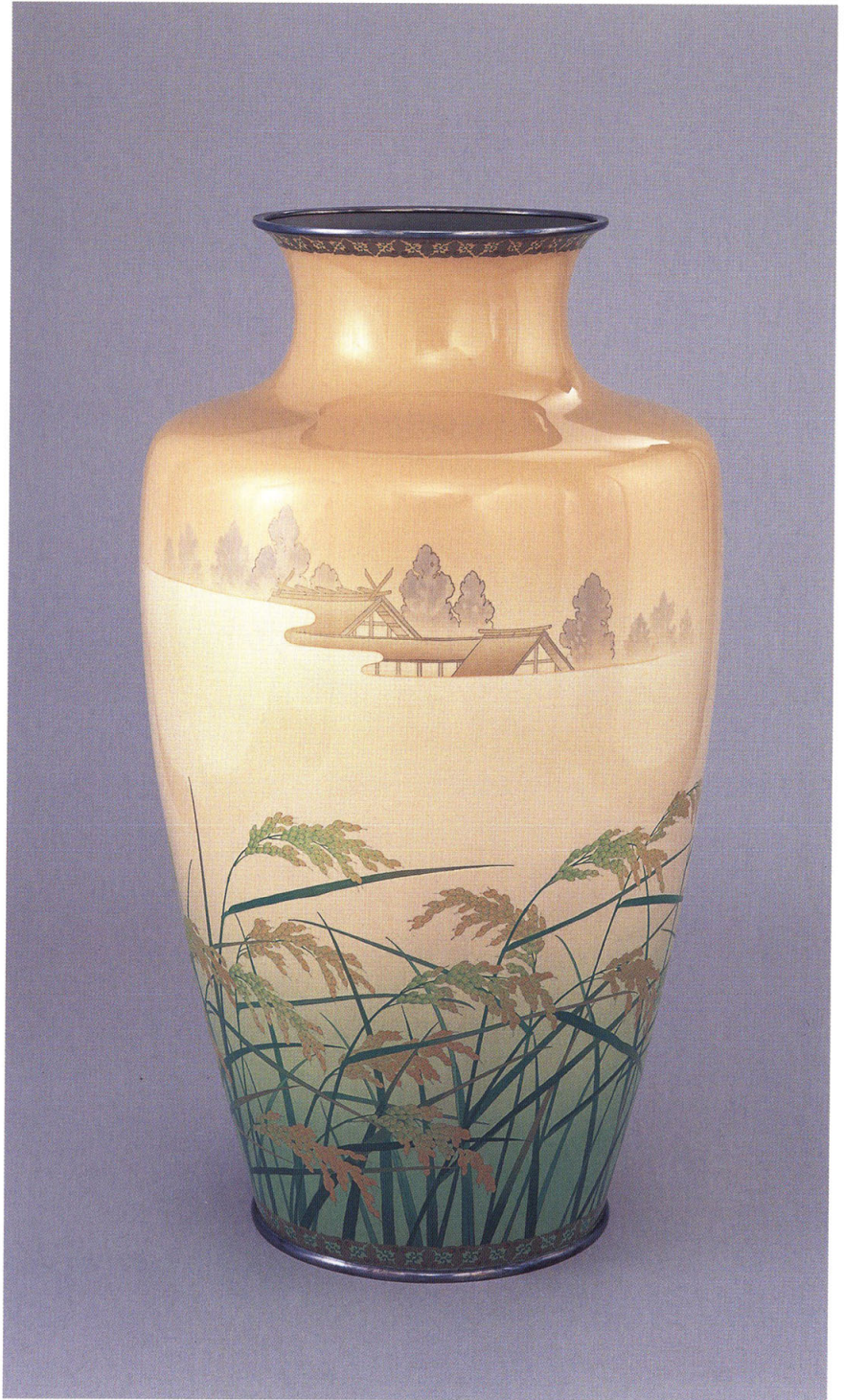


天皇の即位に際して行われる大嘗祭で用いる新米を収穫するための田を斎田という。斎田は悠紀と主基の二箇所が斎田点定の儀によって選出され、大正四年（一九一五）に行われた大嘗祭では、悠紀地方が愛知県、主基地方が香川県と定められた。悠紀斎田は、いくつかの候補地の中から愛知県碧海郡六ツ美村（現在の同県岡崎市）と決定した。本作品はその悠紀斎田に豊かに実った稲穂の様子を写実的な有線七宝であらわし、正面には無線七宝と有線七宝を併用してすやり霞の向こうに熱田神宮とみられる社、裏面には無線七宝で朱色の旭日とシ

ルエットであらわされる山容を配している。上部はベージュ、下部は薄緑を基調とした背景色になっており、いずれもごく淡い色彩で中央部のすやり霞へと向かうにしたがって白色がかったグラデーションとなる、巧みな無線七宝の技術が用いられている。本作品は無銘であるが、同時期の尾張七宝を代表する安藤七宝店、またはその周辺の七宝家によって製作されたと推測される。大正四年の大札に際し、愛知県より献上された。



左側の背面



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に¹出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

大礼 ― 慶祝のかたち

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 85

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 公益財団法人 菊葉文化協会

令和元年九月二十一日発行

©2019, The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan